

人のうごき

令和6年8月届出分を掲載(希望者のみ)

ごっこん

村上 純平さん 豊岡 典子さん 南7の1

おくやみ

浅野 利子さん 97歳 栄町
小松 三郎さん 96歳 朝日
堤 トミさん 90歳 栄町
鈴木 義勝さん 78歳 北4の2
竹内 英則さん 73歳 天売
鉢呂 光寿さん 83歳 緑町

人口と世帯数(8月末)

人口	5,996人	(-6)
男	2,909人	(-8)
女	3,087人	(+2)
世帯数	3,343世帯	(+4)

()は前月比

戸籍の届出について

戸籍の届出は休日にも対応しています。休日にお越しの際には連絡事項等がございますので、事前に町民課総合受付係までお電話ください。(☎ 68-7003 ※休日可)



2種類同時発売!
9/17(火)-10/17(木)
ハロウィン
ジャンボ
1等・前後賞合わせて
5億円
1等・前後賞合わせて
5,000円
100万円以上の当せん本数は/
4,000本以上!
2025年10月30日
10月30日
10月30日
10月30日



Dr. 佐々尾の健康カルテ

4月から認知症についてお話ししてきました。今回は最後に、認知症と診断されたり、物忘れが進んだ方に対する周りの方の対応について触れたいと思います。「同じ社会で共に生き、互いに尊重しつつ支え合う」ために最も重要なことです。

自分の大事な家族や友人が物忘れが進んでくると、その行動の変化への向き合い方に悩みます。まず基本として、その変化は本人の意思ではないことを心に留めておきましょう。認知症の初期は怒りっぽくなり、特に物忘れを指摘される時に目立つことがあります。本人にしてみると、自分自身を否定されたように感じてしまうからです。認知症の症状は、必ず理由があるとされます。例えば、徘徊するのであれば、何かを探しているのかもしれないですし、外の様子などが気になることもあるのかもしれません。声を上げることも、不安があって誰かにそばにいて欲しいのかもしれません。

コミュニケーションの工夫はいろいろあります。ゆっくり・はっきり話をする、短くまとめて話すことが良いでしょう。「何しているの?」「こんなこともできないの?」といった否定的な言葉は避けておきます。その人本人の尊厳を重視することにつながります。また、「きっとできないだろう」とか「時間がかかる」を理由に、本人ができることを取り上げてしまうと自信をなくし傷つきます。自分でできることを尊重し、必要なところのみをサポートすることで、自己肯定感を高めることとなります。

認知症ケアの技法として「ユマニチュード」が知られています。その名称は「人間らしさを取り戻す」という意味のフランス語に由来します。その基本は、「見る」「話す」「触れる」「立つ」にあります。本人にあなたに話しかけているということがわかるように声をかけ、目を合わせ、そして優しく触れることで、安心感と信頼感を築きます。日常生活での不安や混乱を軽減することにより、また、可能な限り立つことを支援します。身体機能を維持することは、介護者の負担軽減に繋がり、精神的な負担を軽くすることができます。

負担を減らす方法は、必ずしも自分たちの努力だけではありません。介護者自身のケアも必要ですから、家族だけで抱え込まず、デイサービスやショートステイなどの介護サービスをはじめ、地域資源を積極的に活用しましょう。困った時には、地域包括支援センターや担当医に相談されると良いでしょう。

これらのポイントを意識することで、認知症の本人・家族との日々の生活が穏やかに過ごせることを願っています。

(北海道立羽幌病院 副院長 佐々尾 航 医師)

各種証明の発行、マイナンバーカードの作成には本人確認書類が必要です

- 書類1点で確認可能なもの(顔写真付きのもの)
免許証、マイナンバーカード、パスポート、在留カード、身体障害者手帳など
- 書類2点で確認が必要なもの
健康保険証、医療受給者証、年金手帳、年金証書、学生証など
※ 学生証は顔写真付きのものでも書類2点での本人確認が必要です
※ 印鑑証明書を代理人の方が請求する場合も代理人の方の本人確認が必要です

➡ お問い合わせ 町民課総合受付係 ☎ 68-7003



広報はぼろ 令和6年9月号 No.735 発行 羽幌町 078-4198 北海道苫前郡羽幌町南町1番地1 編集 地域振興課
電話 0164(68)7013 FAX 0164(62)1219 メール c-kouhou@town.haboro.lg.jp ホームページ www.town.haboro.lg.jp